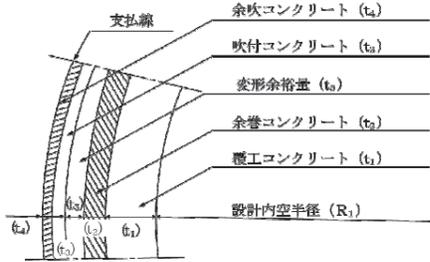
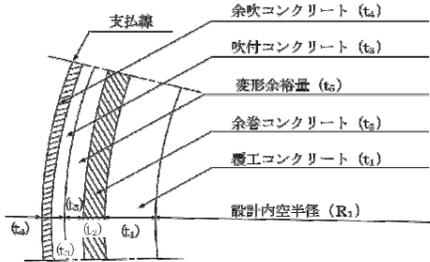


頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																																																																																														
IV-3-⑩-5	⑩ 床版補強工	<p>5-5 炭素繊維シート接着工 炭素繊維シート接着工（1層当り）を行う場合の歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛(1層当り) (100㎡当り・2層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>全面貼り</th> <th>格子貼り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8.3</td> <td>8.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> <td>5.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>107</td> <td>105</td> <td>設計量×(1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂含浸材</td> <td></td> <td>kg</td> <td colspan="2">必要量計上</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td></td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は，炭素繊維接着面積とする。 2. 本歩掛には，墨出し及び養生を含む。 3. 1日当りの施工量は，全面貼り36.3㎡，格子貼り34.0㎡を標準とする。 4. 炭素繊維シートの数量は，積上げにより算出するものとし，ロス率は全面貼り+0.07，格子貼り+0.05とする。 5. エポキシ樹脂含浸材の標準使用量は，表5.6に示すとおりとする。 6. 諸雑費は，ハンドミキサ及び電力に関する経費等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 炭素繊維シート接着工は，特許を有する工法の場合もあるので，特許料が必要な場合は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 エポキシ樹脂含浸材の標準使用量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>目付量 (g/㎡)</th> <th>標準使用量 (kg/㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td> <td>0.67</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>600</td> <td>1.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 目付量とは，単位面積当りの炭素繊維重量である。 2. エポキシ樹脂含浸材の数量は，ロス分を含む。</p> <p>5-6 仕上げ塗装工 仕上げ塗装工を行う場合の歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.7 仕上げ塗装工歩掛 (100㎡・2層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料</td> <td>中塗り</td> <td>kg</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂塗料</td> <td>上塗り</td> <td>〃</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は炭素繊維投影面積とする。 2. 本歩掛には，養生を含む。 3. 1日当りの施工量は，88.7㎡を標準とする。 4. エポキシ樹脂塗料及びウレタン樹脂塗料の数量は，ロス分を含む。 5. 本歩掛は2層塗りを標準とする。これにより難しい場合は，別途考慮するものとする。 6. 諸雑費は，ハンドミキサ及び電力に関する経費等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-⑩-5</p>	名称	規格	単位	数量		摘要	全面貼り	格子貼り	土木一般世話役		人	2.8	2.9		特殊作業員		〃	8.3	8.8		普通作業員		〃	5.5	5.9		炭素繊維シート		㎡	107	105	設計量×(1+ロス率)	エポキシ樹脂含浸材		kg	必要量計上		表5.6	諸雑费率		%	1			特許料金		式	1		必要に応じて計上	目付量 (g/㎡)	標準使用量 (kg/㎡)	200	0.67	300	0.85	400	1.00	600	1.25	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	1.1		特殊作業員		〃	3.4		普通作業員		〃	2.3		エポキシ樹脂塗料	中塗り	kg	20		ウレタン樹脂塗料	上塗り	〃	16		諸雑费率		%	1		<p>5-5 炭素繊維シート接着工 炭素繊維シート接着工（1層当り）を行う場合の歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛(1層当り) (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>全面貼り</th> <th>格子貼り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8.3</td> <td>8.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> <td>5.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>107</td> <td>105</td> <td>設計量×(1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂含浸材</td> <td></td> <td>kg</td> <td colspan="2">必要量計上</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td></td> <td>式</td> <td colspan="2">1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は，炭素繊維接着面積とする。 2. 本歩掛には，墨出し及び養生を含む。 3. 1日当りの施工量は，全面貼り36.3㎡，格子貼り34.0㎡を標準とする。 4. 炭素繊維シートの数量は，積上げにより算出するものとし，ロス率は全面貼り+0.07，格子貼り+0.05とする。 5. エポキシ樹脂含浸材の標準使用量は，表5.6に示すとおりとする。 6. 諸雑費は，ハンドミキサ及び電力に関する経費等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 炭素繊維シート接着工は，特許を有する工法の場合もあるので，特許料が必要な場合は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 エポキシ樹脂含浸材の標準使用量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>目付量 (g/㎡)</th> <th>標準使用量 (kg/㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td> <td>0.67</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>600</td> <td>1.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 目付量とは，単位面積当りの炭素繊維重量である。 2. エポキシ樹脂含浸材の数量は，ロス分を含む。</p> <p>5-6 仕上げ塗装工 仕上げ塗装工を行う場合の歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.7 仕上げ塗装工歩掛 (100㎡・2層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料</td> <td>中塗り</td> <td>kg</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂塗料</td> <td>上塗り</td> <td>〃</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は炭素繊維投影面積とする。 2. 本歩掛には，養生を含む。 3. 1日当りの施工量は，88.7㎡を標準とする。 4. エポキシ樹脂塗料及びウレタン樹脂塗料の数量は，ロス分を含む。 5. 本歩掛は2層塗りを標準とする。これにより難しい場合は，別途考慮するものとする。 6. 諸雑費は，ハンドミキサ及び電力に関する経費等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-⑩-5</p>	名称	規格	単位	数量		摘要	全面貼り	格子貼り	土木一般世話役		人	2.8	2.9		特殊作業員		〃	8.3	8.8		普通作業員		〃	5.5	5.9		炭素繊維シート		㎡	107	105	設計量×(1+ロス率)	エポキシ樹脂含浸材		kg	必要量計上		表5.6	諸雑费率		%	1			特許料金		式	1		必要に応じて計上	目付量 (g/㎡)	標準使用量 (kg/㎡)	200	0.67	300	0.85	400	1.00	600	1.25	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	1.1		特殊作業員		〃	3.4		普通作業員		〃	2.3		エポキシ樹脂塗料	中塗り	kg	20		ウレタン樹脂塗料	上塗り	〃	16		諸雑费率		%	1	
名称	規格	単位				数量			摘要																																																																																																																																																																																								
			全面貼り	格子貼り																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	2.8	2.9																																																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃	8.3	8.8																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃	5.5	5.9																																																																																																																																																																																													
炭素繊維シート		㎡	107	105	設計量×(1+ロス率)																																																																																																																																																																																												
エポキシ樹脂含浸材		kg	必要量計上		表5.6																																																																																																																																																																																												
諸雑费率		%	1																																																																																																																																																																																														
特許料金		式	1		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																												
目付量 (g/㎡)	標準使用量 (kg/㎡)																																																																																																																																																																																																
200	0.67																																																																																																																																																																																																
300	0.85																																																																																																																																																																																																
400	1.00																																																																																																																																																																																																
600	1.25																																																																																																																																																																																																
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	1.1																																																																																																																																																																																														
特殊作業員		〃	3.4																																																																																																																																																																																														
普通作業員		〃	2.3																																																																																																																																																																																														
エポキシ樹脂塗料	中塗り	kg	20																																																																																																																																																																																														
ウレタン樹脂塗料	上塗り	〃	16																																																																																																																																																																																														
諸雑费率		%	1																																																																																																																																																																																														
名称	規格	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																												
			全面貼り	格子貼り																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	2.8	2.9																																																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃	8.3	8.8																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃	5.5	5.9																																																																																																																																																																																													
炭素繊維シート		㎡	107	105	設計量×(1+ロス率)																																																																																																																																																																																												
エポキシ樹脂含浸材		kg	必要量計上		表5.6																																																																																																																																																																																												
諸雑费率		%	1																																																																																																																																																																																														
特許料金		式	1		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																												
目付量 (g/㎡)	標準使用量 (kg/㎡)																																																																																																																																																																																																
200	0.67																																																																																																																																																																																																
300	0.85																																																																																																																																																																																																
400	1.00																																																																																																																																																																																																
600	1.25																																																																																																																																																																																																
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人	1.1																																																																																																																																																																																														
特殊作業員		〃	3.4																																																																																																																																																																																														
普通作業員		〃	2.3																																																																																																																																																																																														
エポキシ樹脂塗料	中塗り	kg	20																																																																																																																																																																																														
ウレタン樹脂塗料	上塗り	〃	16																																																																																																																																																																																														
諸雑费率		%	1																																																																																																																																																																																														

頁	項目	修正前	修正後																																																																																		
IV-5-①-16	①-1 トンネル工（NATM）〔発破工法〕 3. 施工計画	<p>3-7-2 機械損料の補正等 トンネル掘削工において、トンネル専用機ではないホイールローダ・バックホウ（大型ブレーカ用ベースマシン含む）、トンネル専用機及び建設専用は除くダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし、トンネルの岩区分による補正割増しは、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機械損料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>岩区分</th> <th>機械損料割増し</th> <th>岩分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C I・C II</td> <td>25%</td> <td>中硬岩</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>25%</td> <td>軟岩（Ⅱ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>25%</td> <td>軟岩（Ⅱ）</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>軟岩（Ⅰ）</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 土量変化率は、「第Ⅱ編第1章①土量変化率等」による。 2. トンネル内における機械損料の割増しは上表を標準とし、掘削土仮置き以降の機械損料の割増しについては、「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」による。 3. 岩区分D IIの岩分類の判定にあたっては、岩の性状により決定するものとする。</p> <p>3-7-3 機械賃料の補正等 トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は、次表に示す数値を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 機械賃料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>基礎価格に 乗ずる率</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>（トンネル工事対応）搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型（第2次基準値）・低騒音型 ・運転質量3～4 t</td> <td>1.23</td> <td>賃料</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-8 工事用仮設備 3-8-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>[鋼製溶接構造] 容量30 t 排出能力20 t/h</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15 m³ × 3</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>[バッチ型・定置式] 能力25 m³ /h</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。 2. 現場条件等により適合しない場合は、現場条件に見合った機械・規格を別途考慮する。 3. セメントサイロ、骨材ホッパ、コンクリートプラントは、損料とする。</p> <p>3-8-2 電力設備 （1） 施工に必要な負荷設備に対応出来る必要電力を決定する。 （2） 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 （3） 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-8-3 照明設備 坑内照明は、40 W蛍光灯を5 m 間隔に片側のみ設置するものを標準とする。また、切羽照明は500 W投光器とし、切羽部6個（上半4個，下半2個）、覆工4個を標準とする。 坑内照明、切羽照明の計上は、日当たり17時間を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-5-①-16</p>	岩区分	機械損料割増し	岩分類	C I・C II	25%	中硬岩	D I	25%	軟岩（Ⅱ）	D II	25%	軟岩（Ⅱ）	—	軟岩（Ⅰ）	D III	—		機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	摘 要	振動ローラ	（トンネル工事対応）搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型（第2次基準値）・低騒音型 ・運転質量3～4 t	1.23	賃料	機 種	規 格	単 位	数 量	セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30 t 排出能力20 t/h	基	1	骨材ホッパ	15 m ³ × 3	〃	1	コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25 m ³ /h	〃	1	<p>3-7-2 機械損料の補正等 トンネル掘削工において、トンネル専用機ではないホイールローダ・バックホウ（大型ブレーカ用ベースマシン含む）、トンネル専用機及び建設専用は除くダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし、トンネルの岩区分による補正割増しは、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機械損料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>岩区分</th> <th>機械損料割増し</th> <th>岩分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C I・C II</td> <td>25%</td> <td>中硬岩</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>25%</td> <td>軟岩（Ⅱ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>25%</td> <td>軟岩（Ⅱ）</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>軟岩（Ⅰ）</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 土量変化率は、「第Ⅱ編第1章①土量変化率等」による。 2. トンネル内における機械損料の割増しは上表を標準とし、掘削土仮置き以降の機械損料の割増しについては、「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」による。 3. 岩区分D IIの岩分類の判定にあたっては、岩の性状により決定するものとする。</p> <p>3-7-3 機械賃料の補正等 トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は、次表に示す数値を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 機械賃料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>基礎価格に 乗ずる率</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>（トンネル工事対応）搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型（第2次基準値）・低騒音型 ・運転質量3～4 t</td> <td>1.23</td> <td>賃料</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-8 工事用仮設備 3-8-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>30 t</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15 m³ × 3</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>[バッチ型・定置式] 能力25 m³ /h</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。 2. 現場条件等により適合しない場合は、現場条件に見合った機械・規格を別途考慮する。 3. セメントサイロ、骨材ホッパ、コンクリートプラントは、損料とする。</p> <p>3-8-2 電力設備 （1） 施工に必要な負荷設備に対応出来る必要電力を決定する。 （2） 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 （3） 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-8-3 照明設備 坑内照明は、40 W蛍光灯を5 m 間隔に片側のみ設置するものを標準とする。また、切羽照明は500 W投光器とし、切羽部6個（上半4個，下半2個）、覆工4個を標準とする。 坑内照明、切羽照明の計上は、日当たり17時間を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-5-①-16</p>	岩区分	機械損料割増し	岩分類	C I・C II	25%	中硬岩	D I	25%	軟岩（Ⅱ）	D II	25%	軟岩（Ⅱ）	—	軟岩（Ⅰ）	D III	—		機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	摘 要	振動ローラ	（トンネル工事対応）搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型（第2次基準値）・低騒音型 ・運転質量3～4 t	1.23	賃料	機 種	規 格	単 位	数 量	セメントサイロ	30 t	基	1	骨材ホッパ	15 m ³ × 3	〃	1	コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25 m ³ /h	〃	1
岩区分	機械損料割増し	岩分類																																																																																			
C I・C II	25%	中硬岩																																																																																			
D I	25%	軟岩（Ⅱ）																																																																																			
D II	25%	軟岩（Ⅱ）																																																																																			
	—	軟岩（Ⅰ）																																																																																			
D III	—																																																																																				
機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	摘 要																																																																																		
振動ローラ	（トンネル工事対応）搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型（第2次基準値）・低騒音型 ・運転質量3～4 t	1.23	賃料																																																																																		
機 種	規 格	単 位	数 量																																																																																		
セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30 t 排出能力20 t/h	基	1																																																																																		
骨材ホッパ	15 m ³ × 3	〃	1																																																																																		
コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25 m ³ /h	〃	1																																																																																		
岩区分	機械損料割増し	岩分類																																																																																			
C I・C II	25%	中硬岩																																																																																			
D I	25%	軟岩（Ⅱ）																																																																																			
D II	25%	軟岩（Ⅱ）																																																																																			
	—	軟岩（Ⅰ）																																																																																			
D III	—																																																																																				
機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	摘 要																																																																																		
振動ローラ	（トンネル工事対応）搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型（第2次基準値）・低騒音型 ・運転質量3～4 t	1.23	賃料																																																																																		
機 種	規 格	単 位	数 量																																																																																		
セメントサイロ	30 t	基	1																																																																																		
骨材ホッパ	15 m ³ × 3	〃	1																																																																																		
コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25 m ³ /h	〃	1																																																																																		

頁	項目	修正前	修正後																																																																																		
IV-5-①-80	①-2 トンネル工（NATM）[機械掘削工法] 3. 施工計画	<p>3-7-2 機械損料の補正等 トンネル掘削工において，トンネル専用機ではないホイールローダ・バックホウ（大型ブレーカ用ベースマシン含む），トンネル専用機及び建設専用を除くダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし，トンネルの岩区分による補正割増は，次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 機械損料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>岩区分</th> <th>機械損料割増</th> <th>岩分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C I・C II</td> <td>25%</td> <td>中硬岩</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>25%</td> <td>軟岩(Ⅱ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>25%</td> <td>軟岩(Ⅱ)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>軟岩(Ⅰ)</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土量変化率は，「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」による。 2. トンネル内における機械損料の割増は上表のとおりとし，掘削土仮置き以降の機械損料の割増については，「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」による。 3. 岩区分DⅡの岩分類の判定に当っては，岩の性状により決定するものとする。</p> <p>3-7-3 機械賃料の補正等 トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は，次表に示す数値を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機械賃料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>基礎価格に 乗ずる率</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3～4t</td> <td>1.23</td> <td>賃料</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-8 工事用仮設備 3-8-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機械・規格は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15㎡×3</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>[バッチ型・定置式] 能力25㎡/h</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 吹付プラント設備は，坑外に設置する。 2. 現場条件等により適合しない場合は，現場条件に見合った機械・規格を別途考慮する。 3. セメントサイロ，骨材ホッパ，コンクリートプラントは，損料とする。</p> <p>3-8-2 電力設備 (1) 施工に必要な負荷設備に対応出来る必要電力を決定する。 (2) 電力会社の供給設備を調査し，負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 (3) 受電設備，変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-8-3 照明設備 坑内照明は，40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するものを標準とする。また，切羽照明は500W投光器とし，切羽部6個(上半4個，下半2個)，覆工4個を標準とする。 坑内照明，切羽照明の計上は，日当り17時間を標準とする。</p> <p>3-8-4 換気設備 (1) 換気設備の設置 坑内の換気は，掘削断面，長さ，自然条件等を考慮して，自然換気に期待し得る場合でもこれに依存することなく換気設備を設置することを標準とする。工事用換気設備は，切羽が坑口より30m掘進した時</p> <p style="text-align: center;">IV-5-①-80</p>	岩区分	機械損料割増	岩分類	C I・C II	25%	中硬岩	D I	25%	軟岩(Ⅱ)	D II	25%	軟岩(Ⅱ)	—	軟岩(Ⅰ)	D III	—	—	機械名	規格	基礎価格に 乗ずる率	摘要	振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3～4t	1.23	賃料	機械名	規格	単位	数量	セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h	基	1	骨材ホッパ	15㎡×3	〃	1	コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25㎡/h	〃	1	<p>3-7-2 機械損料の補正等 トンネル掘削工において，トンネル専用機ではないホイールローダ・バックホウ（大型ブレーカ用ベースマシン含む），トンネル専用機及び建設専用を除くダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし，トンネルの岩区分による補正割増は，次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 機械損料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>岩区分</th> <th>機械損料割増</th> <th>岩分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C I・C II</td> <td>25%</td> <td>中硬岩</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>25%</td> <td>軟岩(Ⅱ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>25%</td> <td>軟岩(Ⅱ)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>軟岩(Ⅰ)</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土量変化率は，「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」による。 2. トンネル内における機械損料の割増は上表のとおりとし，掘削土仮置き以降の機械損料の割増については，「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」による。 3. 岩区分DⅡの岩分類の判定に当っては，岩の性状により決定するものとする。</p> <p>3-7-3 機械賃料の補正等 トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は，次表に示す数値を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機械賃料の補正</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>基礎価格に 乗ずる率</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3～4t</td> <td>1.23</td> <td>賃料</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-8 工事用仮設備 3-8-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機械・規格は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>30t</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15㎡×3</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>[バッチ型・定置式] 能力25㎡/h</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 吹付プラント設備は，坑外に設置する。 2. 現場条件等により適合しない場合は，現場条件に見合った機械・規格を別途考慮する。 3. セメントサイロ，骨材ホッパ，コンクリートプラントは，損料とする。</p> <p>3-8-2 電力設備 (1) 施工に必要な負荷設備に対応出来る必要電力を決定する。 (2) 電力会社の供給設備を調査し，負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 (3) 受電設備，変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-8-3 照明設備 坑内照明は，40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するものを標準とする。また，切羽照明は500W投光器とし，切羽部6個(上半4個，下半2個)，覆工4個を標準とする。 坑内照明，切羽照明の計上は，日当り17時間を標準とする。</p> <p>3-8-4 換気設備 (1) 換気設備の設置 坑内の換気は，掘削断面，長さ，自然条件等を考慮して，自然換気に期待し得る場合でもこれに依存することなく換気設備を設置することを標準とする。工事用換気設備は，切羽が坑口より30m掘進した時より貫通するまでの期間，設置するものとする。</p> <p style="text-align: center;">IV-5-①-80</p>	岩区分	機械損料割増	岩分類	C I・C II	25%	中硬岩	D I	25%	軟岩(Ⅱ)	D II	25%	軟岩(Ⅱ)	—	軟岩(Ⅰ)	D III	—	—	機械名	規格	基礎価格に 乗ずる率	摘要	振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3～4t	1.23	賃料	機械名	規格	単位	数量	セメントサイロ	30t	基	1	骨材ホッパ	15㎡×3	〃	1	コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25㎡/h	〃	1
岩区分	機械損料割増	岩分類																																																																																			
C I・C II	25%	中硬岩																																																																																			
D I	25%	軟岩(Ⅱ)																																																																																			
D II	25%	軟岩(Ⅱ)																																																																																			
	—	軟岩(Ⅰ)																																																																																			
D III	—	—																																																																																			
機械名	規格	基礎価格に 乗ずる率	摘要																																																																																		
振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3～4t	1.23	賃料																																																																																		
機械名	規格	単位	数量																																																																																		
セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h	基	1																																																																																		
骨材ホッパ	15㎡×3	〃	1																																																																																		
コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25㎡/h	〃	1																																																																																		
岩区分	機械損料割増	岩分類																																																																																			
C I・C II	25%	中硬岩																																																																																			
D I	25%	軟岩(Ⅱ)																																																																																			
D II	25%	軟岩(Ⅱ)																																																																																			
	—	軟岩(Ⅰ)																																																																																			
D III	—	—																																																																																			
機械名	規格	基礎価格に 乗ずる率	摘要																																																																																		
振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3～4t	1.23	賃料																																																																																		
機械名	規格	単位	数量																																																																																		
セメントサイロ	30t	基	1																																																																																		
骨材ホッパ	15㎡×3	〃	1																																																																																		
コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25㎡/h	〃	1																																																																																		

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																																																																																																																		
IV-5-①-127	①-2 トンネル工（NATM）[機械掘削工法] 5. 単価表	<p>(12) 型枠工（覆工コンクリート）スライドセントル（非常駐車帯用）移動・据付・脱型1m（トンネル延長） 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.64</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スライドセントル（非常駐車帯用）</td> <td>L=6.0 m</td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.70 機械損料 式4.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(13) 防水工1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.08×A/10</td> <td>表4.62</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.15×A/10</td> <td>表4.62</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.08×A/10</td> <td>表4.62</td> </tr> <tr> <td>防水作業台車</td> <td>L=6.0m</td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.71, 表4.72 機械損料 式4.3</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A：1m当り防水シート面積</p> <p>(14) 吹付プラント設備運転1日当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>[バッチ型・定置式] 能力25m³/h</td> <td>供用日</td> <td></td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15m³×3</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	トンネル世話役		人		表4.64	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	スライドセントル（非常駐車帯用）	L=6.0 m	m	1	表4.70 機械損料 式4.2	諸雑費		式	1		計					名称	規格	単位	数量	摘要	トンネル世話役		人	0.08×A/10	表4.62	トンネル特殊工		〃	0.15×A/10	表4.62	トンネル作業員		〃	0.08×A/10	表4.62	防水作業台車	L=6.0m	m	1	表4.71, 表4.72 機械損料 式4.3	諸雑費		式	1		計					名称	規格	単位	数量	摘要	電力料		kWh			コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25m ³ /h	供用日		表3.7	セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h	〃		〃	骨材ホッパ	15m ³ ×3	〃		〃	諸雑費		式	1		計					<p>(12) 型枠工（覆工コンクリート）スライドセントル（非常駐車帯用）移動・据付・脱型1m（トンネル延長） 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.64</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スライドセントル（非常駐車帯用）</td> <td>L=6.0 m</td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.70 機械損料 式4.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(13) 防水工1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.08×A/10</td> <td>表4.62</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.15×A/10</td> <td>表4.62</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.08×A/10</td> <td>表4.62</td> </tr> <tr> <td>防水作業台車</td> <td>L=6.0m</td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.71, 表4.72 機械損料 式4.3</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A：1m当り防水シート面積</p> <p>(14) 吹付プラント設備運転1日当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>[バッチ型・定置式] 能力25m³/h</td> <td>供用日</td> <td></td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>30t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15m³×3</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	トンネル世話役		人		表4.64	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	スライドセントル（非常駐車帯用）	L=6.0 m	m	1	表4.70 機械損料 式4.2	諸雑費		式	1		計					名称	規格	単位	数量	摘要	トンネル世話役		人	0.08×A/10	表4.62	トンネル特殊工		〃	0.15×A/10	表4.62	トンネル作業員		〃	0.08×A/10	表4.62	防水作業台車	L=6.0m	m	1	表4.71, 表4.72 機械損料 式4.3	諸雑費		式	1		計					名称	規格	単位	数量	摘要	電力料		kWh			コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25m ³ /h	供用日		表3.7	セメントサイロ	30t	〃		〃	骨材ホッパ	15m ³ ×3	〃		〃	諸雑費		式	1		計				
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
トンネル世話役		人		表4.64																																																																																																																																																																																																																	
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
スライドセントル（非常駐車帯用）	L=6.0 m	m	1	表4.70 機械損料 式4.2																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																					
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
トンネル世話役		人	0.08×A/10	表4.62																																																																																																																																																																																																																	
トンネル特殊工		〃	0.15×A/10	表4.62																																																																																																																																																																																																																	
トンネル作業員		〃	0.08×A/10	表4.62																																																																																																																																																																																																																	
防水作業台車	L=6.0m	m	1	表4.71, 表4.72 機械損料 式4.3																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																					
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
電力料		kWh																																																																																																																																																																																																																			
コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25m ³ /h	供用日		表3.7																																																																																																																																																																																																																	
セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h	〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
骨材ホッパ	15m ³ ×3	〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																					
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
トンネル世話役		人		表4.64																																																																																																																																																																																																																	
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
スライドセントル（非常駐車帯用）	L=6.0 m	m	1	表4.70 機械損料 式4.2																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																					
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
トンネル世話役		人	0.08×A/10	表4.62																																																																																																																																																																																																																	
トンネル特殊工		〃	0.15×A/10	表4.62																																																																																																																																																																																																																	
トンネル作業員		〃	0.08×A/10	表4.62																																																																																																																																																																																																																	
防水作業台車	L=6.0m	m	1	表4.71, 表4.72 機械損料 式4.3																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																					
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
電力料		kWh																																																																																																																																																																																																																			
コンクリートプラント	[バッチ型・定置式] 能力25m ³ /h	供用日		表3.7																																																																																																																																																																																																																	
セメントサイロ	30t	〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
骨材ホッパ	15m ³ ×3	〃		〃																																																																																																																																																																																																																	
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																					

頁	項目	修正前	修正後																																
IV-5-②-4	② 小断面トンネル工（NATM） 3. 施工計画	 <p>図3-2 変形余裕を見込む場合</p> <p>設計掘削半径＝設計内空半径（R_1）＋覆工コンクリート厚（t_1）＋吹付コンクリート厚（t_3）＋変形余裕量（t_5） 支払掘削半径＝〔設計内空半径（R_1）＋覆工コンクリート厚（t_1）＋吹付コンクリート厚（t_3）＋変形余裕量（t_5）〕＋余掘 ＝設計掘削半径＋余掘 余掘＝余巻コンクリート（t_2）＋余吹コンクリート（t_4）</p> <p>3-6 トンネル工事の機械器具経費積算 トンネル工事の機械器具損料の算定は、「請負工事機械経費積算要領」に基づき行い、内燃機関付機械（ダンプトラック、コンクリートポンプ車、トラックミキサ等）を使用する場合は、黒煙浄化装置付とし、そのうちドリルジャンボ、バックホウ、ホイールローダを使用する場合は、トンネル工事前排出ガス対策型を標準とする。ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p> <p>3-7 工事前仮設備 3-7-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機械・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="905 1218 1558 1396"> <caption>表3.4 機種を選定</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>〔鋼製溶接構造〕容量 30 t 排出能力 20 t/h</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15 m³×3</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>〔バッチ型・定置式〕 能力 25 m³/h</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。 2. 現場条件等により、上表により難しい場合は、現場条件に見合った機械、規格を別途考慮する。 3. セメントサイロ、骨材ホッパ、コンクリートプラントは、損料とする。</p> <p>3-7-2 電力設備 (1) 施工に必要な負荷設備に対応できる必要電力を決定する。 (2) 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 (3) 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-7-3 照明設備 坑内照明設備は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するのを標準とする。 また、切羽照明は、500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。 坑内照明、切羽照明の計上は、日当り17時間を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-5-②-4</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	セメントサイロ	〔鋼製溶接構造〕容量 30 t 排出能力 20 t/h	基	1	骨材ホッパ	15 m ³ ×3	〃	1	コンクリートプラント	〔バッチ型・定置式〕 能力 25 m ³ /h	〃	1	 <p>図3-2 変形余裕を見込む場合</p> <p>設計掘削半径＝設計内空半径（R_1）＋覆工コンクリート厚（t_1）＋吹付コンクリート厚（t_3）＋変形余裕量（t_5） 支払掘削半径＝〔設計内空半径（R_1）＋覆工コンクリート厚（t_1）＋吹付コンクリート厚（t_3）＋変形余裕量（t_5）〕＋余掘 ＝設計掘削半径＋余掘 余掘＝余巻コンクリート（t_2）＋余吹コンクリート（t_4）</p> <p>3-6 トンネル工事の機械器具経費積算 トンネル工事の機械器具損料の算定は、「請負工事機械経費積算要領」に基づき行い、内燃機関付機械（ダンプトラック、コンクリートポンプ車、トラックミキサ等）を使用する場合は、黒煙浄化装置付とし、そのうちドリルジャンボ、バックホウ、ホイールローダを使用する場合は、トンネル工事前排出ガス対策型を標準とする。ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p> <p>3-7 工事前仮設備 3-7-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機械・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="2003 1218 2656 1396"> <caption>表3.4 機種を選定</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>30 t</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15 m³×3</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>〔バッチ型・定置式〕 能力 25 m³/h</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。 2. 現場条件等により、上表により難しい場合は、現場条件に見合った機械、規格を別途考慮する。 3. セメントサイロ、骨材ホッパ、コンクリートプラントは、損料とする。</p> <p>3-7-2 電力設備 (1) 施工に必要な負荷設備に対応できる必要電力を決定する。 (2) 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 (3) 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-7-3 照明設備 坑内照明設備は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するのを標準とする。 また、切羽照明は、500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。 坑内照明、切羽照明の計上は、日当り17時間を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-5-②-4</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	セメントサイロ	30 t	基	1	骨材ホッパ	15 m ³ ×3	〃	1	コンクリートプラント	〔バッチ型・定置式〕 能力 25 m ³ /h	〃	1
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																
セメントサイロ	〔鋼製溶接構造〕容量 30 t 排出能力 20 t/h	基	1																																
骨材ホッパ	15 m ³ ×3	〃	1																																
コンクリートプラント	〔バッチ型・定置式〕 能力 25 m ³ /h	〃	1																																
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																
セメントサイロ	30 t	基	1																																
骨材ホッパ	15 m ³ ×3	〃	1																																
コンクリートプラント	〔バッチ型・定置式〕 能力 25 m ³ /h	〃	1																																